和歌山工業高等学校定時制

実施日時	令和２年９月２９日（火）１８：４５～２１：１０
参加者	生徒９名、教職員８名、地域住民等０名　計１７名
実施内容	救急救命講習（心肺蘇生法およびＡＥＤの取り扱いについて）

ねらい

１、近い将来予想される南海トラフ地震をはじめとする自然災害に備え、防災への意識を高める。

２、地域防災の担い手として社会貢献できる青少年、職場や地域の防災リーダーの育成を図る。

主なプログラム

１、救急現場の状況　　：和歌山市

２、心肺蘇生法とＡＥＤ：中消防署南分署

３、感想文　　　　　　：１年クラス担任

概要

１、和歌山市消防局中消防署南分署の協力のもと実施した。

２、署員による講義と実演。

３、生徒の実技（各自による実技）
（指導は南分署員）

参加者感想文

・初めて AED を触りました。すごかったです。人の胸を押したことがなかったのでいい経験になりました。なかなか体力を使う行動でした。９分間も続けるのはとても大変だと思いました。これを機に、いざというときに役立てたいと思います。ありがとうございました。

・今回の防災スクールで応急処置の手順を再度学ぶことができました。応急処置や AED の使い方は学んでいましたが、やはり覚えていないところが多々ありました。

そのため、今日このような機会をくださり、本当にありがとうございました。この度、来てくださった救急隊員の方々、ありがとうございました。

・今日はAEDや色々な勉強をして、将来誰かが倒れていたら助けてあげたいので、勉強できてうれしかったです。もし誰かが倒れていたら、自分から助けてあげられる人になりたいです。

・やるとなるとかなり難しそうだなと思いましたが、AEDの指示通りにすればいいとわかりました。押すときの深さは単三電池１本分だから、かなり押さないとだめだと思いました。まず初めに人を呼ぶことが大事だとわかりました。人の助け合いこそ大事だと思いました。
本日はありがとうございました。

成果と課題

【成果】

講義、実習ともに、みな真剣に取り組んでおり生きた経験が積めたようである。当初恥ずかしがっていた生徒で、実習を行えた者もいたことはよかった。今後は職場や地域において救急救命活動等にボランティアとして積極的に参加し、社会に貢献できる人材となることを期待している。

【課題】

参加生徒数が予定よりも少ないことは毎年の課題である。また、生徒の中には講義は聴いているものの、実習では恥ずかしがり嫌がる生徒がいるのも同様の課題である。